

科目名 (科目番号)	臨床検査医学総論 (102111)	教員名 難波 俊二	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		木13	B201研究室	
授業概要	<p>主要な疾患の病態生理について、その概要を理解し説明できるようにする。臨床検査がどのような病態において異常値を示すのか理解させる。また、疾病と臨床検査の関係について学び、臨床検査の必要性を理解できる。</p>						
準備学習	<p>毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること</p>						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	臨床検査の意義・臨床診断学総論	到達目標：臨床検査が診断や治療に役立つ情報を臨床医に提供することを理解する。 学習内容：臨床検査医学の概要を学ぶ。				
	2	循環器疾患の検査	到達目標：循環器疾患の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：循環器疾患の病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	3	呼吸器疾患の検査	到達目標：呼吸器系疾患の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：呼吸器系疾患の病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	4	消化管疾患の検査	到達目標：上部・下部消化管疾患の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：上部・下部消化管疾患の病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	5	肝・胆・膵疾患の検査	到達目標：肝・胆道・膵疾患の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：肝・胆道・膵疾患の検査結果について有用な検査について学ぶ。				
	6	感染症の検査	到達目標：感染症の種類と鑑別に役立つ検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：感染症の種類と鑑別や病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	7	血液・造血器疾患の検査	到達目標：血液・造血器疾患の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：血球・血漿成分の機能や血液凝固などに異常をきたす疾患の病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	8	内分泌疾患の検査	到達目標：内分泌疾患の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：内分泌疾患の鑑別および病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	9	腎・尿路疾患の検査	到達目標：腎・尿路疾患の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：腎・尿路疾患の病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	10	体液・電解質・酸-塩基平衡の検査	到達目標：電解質や血液ガスの検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：電解質異常や血液ガス異常をきたす疾患の病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	11	神経・運動器疾患の検査	到達目標：神経・運動器疾患の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：神経・運動器疾患の病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	12	アレルギー性疾患・膠原病・免疫病の検査	到達目標：アレルギー疾患・膠原病・免疫病の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を習得する。 学習内容：アレルギー疾患、膠原病の診断に有用な検査について学ぶ。				
	13	代謝・栄養異常の検査	到達目標：代謝・栄養異常の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：代謝・栄養異常をきたす疾患の病態把握に有用な検査について学ぶ。				
	14	感覚器疾患、有毒物中毒の検査	到達目標：感覚器疾患、有毒物中毒の検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：感覚器疾患、有毒物中毒に有用な検査、有毒物中毒の原因物質とその機序について学ぶ。				
15	染色体・遺伝子異常症の検査、悪性腫瘍の検査	到達目標：染色体・遺伝子異常症、腫瘍マーカーの検査結果と病態との関連性、臨床的意義を理解する。 学習内容：染色体・遺伝子異常症と腫瘍マーカーの種類と診断に有用な検査を学ぶ。					
成績評価の方法・基準	<p>期末試験(100%)</p>						
教科書	最新臨床検査学講座 臨床医学総論／臨床検査医学総論		奈良信雄、高木 康ほか		医歯薬出版		
参考図書							
教員からのメッセージ	<p>臨床検査を専門とする臨床検査技師を目指す皆さんにとって、疾病の原因や病態、経過などを知っておくことはとても大切です。そのため、各種の疾病と検査結果の関連性を学習しましょう。</p>						